

## ふれあいサロン 地域住民の交流の場所づくり事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- 近年、住民同士の関係が希薄になることによる高齢者等の「孤立」や一人で食事をとる子どもや高齢者等の「孤食」が社会問題になっている。
- 地域の医療機関や老人ホーム等の介護保険事業とボランティアを中心とする多様な担い手による、住民の支え合い・助け合いの地域づくりや住民運営サービス事業を作り出すことを柱とする地域支援事業を組み合わせた地域包括ケアシステムの構築が求められている。
- 子どもからお年寄りまで地域の住民の交流の場の運営を通じて、住み慣れたところで安心して暮らせる心豊かな地域づくりに貢献したい。

### 事業内容

- 信州うえだ農協上田東支所豊里店の空き店舗を改装して、誰でも自由に使える「ふれあいサロン hinata bocco とよさと」をオープンし、ボランティアスタッフにより運営している。
- サロンでは、様々な取組を行っている。
  - 「飲食物の提供」コーヒーやお茶のほか、ランチの提供
  - 「趣味の教室・イベントの開催」コンサート、折り紙教室、もちつき大会、お茶会 等
  - 「健康体操教室・よりあい広場等の開催」
  - 介護予防の健康体操、認知症ケアの専門職と認知症の皆さんやご家族の皆さんの集い 等
  - 「こども食堂」子どもへの食事提供、世代間交流 等



【地域の集いバンドコンサート】

### 事業効果

- サロンの来場者は平均 38 人／日を超えており、多くの皆様が集う場所となっている。
- 趣味の教室、コンサートやもちつき大会等のイベントを開催し、地域住民の皆様との交流を深めることにより、世代を超えて誰もが気軽に集い、会える場所としての機能が充実してきている。
- サロンの運営ボランティアスタッフとして 56 名が参加し、来場を機に参加される方もいる。
- 豊殿地区では、高齢者が安心して暮らし続けられる地域を目指して「安心の地域づくりセミナー」を開催し、住民が介護保険制度や認知症理解について学んでおり、セミナーの修了生がサロンの活動に運営ボランティアスタッフとして参加するなど、「学んだことの実践の場」になっている。また、サロンでは認知症当事者がスタッフとして参加しており、認知症になっても地域での活動が継続できるという理解が地域に広がっている。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- サロンの事業を、参加するボランティアスタッフも「楽しむ」。地域の皆さまも「楽しむ」。子供から大人高齢者に至るまで、誰もが気軽に参加して「楽しむ」ことで広がる交流の場を地域支援活動の基軸とし「誰もが住み慣れたところで安心して暮らせる心豊かな地域づくりに貢献する。」活動とすること。
- ボランティアスタッフ一人一人が持つ「特技」、サロンに集まる皆様から募集する活動に対する「アイデア」を、どのように結び付け実行に移したら良いかを課題として常に検討している。
- 認知症スタッフの活動を地域のより多くの皆さまに理解していただけるよう集いの場を運営すること。
- 募集したアイデアや希望により、みんなで「楽しむ」ことを考え趣味の教室「オカリナ」「囲碁」「将棋」「オセロ」等の開催を計画しています。また、地域の皆さまがひとところに集う「もちつき大会」等サロンに集うみんなが楽しめるイベントを開催する。

#### 【選定のポイント】

豊殿地区では、住民主導で認知症理解等のセミナーを開催しており、サロン開設により、セミナーの修了生が「実践の場」としてサロンの運営に加わるほか、認知症当事者も運営に参加することで、認知症になっても地域で活動が継続できるという理解が地域に広がる等、好循環が生まれている。

団体名	豊殿ふれあいサロン運営委員会 (上田市)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	0268-35-0066 (JA豊里店内)	事業費	542,160円
		支援金額	421,000円